

第1回養老町立小学校再編準備専門部会全体会議事概要

日時:令和8年3月18日(水)19時~

場所:役場 4階大会議室

【出席者:41名】

- ◆専門部会員37名(欠席1名)
 - ◆事務局2名 早崎京子教育長、中島恵美教育委員会事務局長
 - ◆(株)国際開発コンサルタンツ 2名出席(伊藤様、渡邊様)
- ※傍聴者 0名

次第

- 1.開会
- 2.教育長あいさつ
- 3.自己紹介
- 4.第1回養老町立小学校再編準備委員会について(報告)
(事務局より報告)

これまでの「養老町学校のあり方検討委員会」において協議された本町の望ましい学校教育環境についての答申を踏まえ、学校の円滑な再編に向け、調査・検討し、調整を図るため、本年1月29日有識者や学校関係者、保護者代表などで構成する「養老町立小学校再編準備委員会」(以下「準備委員会」という)を設置した。同日には「第1回準備委員会」を開催し、今後の検討項目やスケジュール、小学校の適正配置について協議をした。

準備委員会の委員名簿は、資料1ページに記載のとおり。委員は総勢10名で、岐阜聖徳学園大学の大学教授(安田和夫教授、中島葉子教授)のお二人を学識経験者として、「学校のあり方検討委員会」から引き続きお願いすることとした。そのほか委員には、各専門部会の正副部長さんをお願いしている。会議の委員長に「安田和夫教授」を、副委員長には「安田澄雄区長会長」をお願いし、10名の委員で今後協議を進めていく。

第1回準備委員会の協議事項は、川地町長も出席のうえ、検討項目及び検討スケジュールについてと 小学校の適正配置について の2項目で協議した。スケジュールについては、次第5のところで詳細に説明する。小学校の適正配置については、統合する2校をどこの学校にするのが望ましいかを協議し、協議の結果、統合校は、高田中校区は「養老小学校」、東部中校区は「笠郷小学校」が望ましいのではないか との意見でまとまった。この場では、あくまでも委員の総意でまとまった意見であり、決定ではないことを申し添える。

小学校の適正配置について協議した内容については、資料7ページから19ページにかけて(株)国際開発コンサルタンツの伊藤様から説明

第1回準備委員会でまとまった意見を踏まえ、今後は、町長部局と教育委員会部局とで合意形成を図り、第2回準備委員会で統合校案2校の決定ができる運びで進めていきたいと考えている。

ここまでのところで、何かご意見ご質問等あれば挙手にてご発言をお願いしたい。

(特に質問、意見なし)

5. 各部会の検討項目と検討スケジュールについて

(資料3ページについて説明)

組織体制図について、準備委員会の下部組織として、4つの専門部会を設置する。専門部会は、学校再編に関わって、必要な検討課題の細部について調査検討を行うため設置するものであり、「総務部会」「教育部会」「PTA 地域部会」「施設通学部会」の4つの専門部会に分かれて、それぞれの部会の検討課題に即した内容に基づき協議をしていただく。各部会における主だった検討課題は組織図に掲載。

本日の専門部会は、全員お集まりいただいての全体会であるが、次回からは、各部会の部会長を中心に、部会ごとで開催時期を決め、協議をしていただく。協議課題の内容や協議する時期等、部会によって事情が異なるため、部会の回数や開催時期等は各部会で異なってくる。

専門部会の司会進行は、各部会の部会長が中心となって行い、議事録については、各部会に事務局(役場職員)を置いているので、事務局が会議録作成を行う。なお、部会横断の確認については、事務局で行うこととする。

専門部会で協議いただいた内容については、上部組織である「準備委員会」にて各部会の部会長からご報告をいただき、その報告を受けた協議事項についてひとつひとつ決定していく。あくまでも準備委員会が決定機関であり、専門部会は決定していくための協議機関という位置づけになる。

(次に、資料4ページについて説明)

資料上段が「準備委員会のスケジュールと主な議題(案)」、下段が「(参考)施設通学部会検討スケジュール(案)」になる。

まず、上段の準備委員会のスケジュールと主な議題(案)について、これは、今年1月に開催した「第1回準備委員会」を皮切りに、令和12年度の開校までに、計11回の準備委員会を開催する想定で全体スケジュールをお示ししたものになる。ただし、これはあくまでも現時点においての事務局案ということになるので、今後、変更もありうることをご承知おきいただきたい。

準備委員会を開催していく過程の中で、主に8項目を議題にあげスケジュールをお示している。「小学校の適正配置について」「統合校の施設整備について」「通学方法について」「整備スケジュールについて」「合意形成について」「その他開校準備」「計画書のとりまとめ」の8項目を議題とし、オレンジ色で着色してある箇所については、各部会からの意見の反映を必要とするところになる。

準備委員会については、約3ヶ月に1回の割合で、計11回開催する予定をしている。今年1月に開催した準備委員会では、統合校の検討を行ったので、第2回の準備委員会では、統合校案の決定をし、総合校の施設整備について進め方や視察先の確認を行っていきたいと考えている。統合校が決定されたら、第3回の準備委員会において、先進事例の視察を実施したいと考えている。そして、第3回と第4回の準備委員会の間(時期は未定)に、町内在住の小学生・中学生・高校生・大学生を集め、新しい学校づくりに向けた子どもの率直な意見を聞く場を設けるために、「第1回こども意見交換会」を実施したいと考えている。

統合校の施設整備については、第4回から第5回の準備委員会にかけて、「基本コンセプト・整備方針の検討」を行うほか、学区別の通学方法の検討、学校跡地の方向性や地区公民館の役割等をメインに検討していく予定をしている。さらには、今年の12月頃の年末になるかと思うが、第1回住民説明会を開催する運びで考えている。住民説明会は、各校区において開催することとし、統合校の報告やこれまでの進捗状況を説明する場として、住民の皆さまに中間報告をさせていただきたいと考えている。第6回から第9回にかけては、統合校の施設について必要な教室や教室回りのつくり方など、施設整備内容の検討のほかスクールバスの運行経路や本数等、通学方法の検討をしていきたい。その間に、教員ワークショップや、第2回子ども意見交換会を実施したいと考えている。第9回の準備委員会では、引き続き跡地活用についての検討に加え、地域での居場所づくりなど、学校だけの問題ではなく、まちづくりの根幹にも関わることになるため、地域での居場所づくりにも目を向け、検討してまいりたいと考えている。そして、第10回と第11回の開催の間に、第2回住民説明会を開催する予定をしている。ここでは、新たな学校の施設計画、教育内容の報告等ができればと思っている。

※資料4ページ下段の「(参考)施設通学部会検討スケジュール(案)」については、資料5ページの説明の後に説明。

(続いて、資料5ページについて説明)

ここでは、専門部会の主な検討項目について、事務局で具体的に検討したものを案としてお示しをさせていただいた。各部会における「目的」「検討・協議事項」に対し、「まず協議すること」「次に協議すること」の項目に分けてお示ししてある。

各部会の目的は記載のとおりで、その右横の「検討・協議事項について」は、考えられる代表的なものをお示ししてある。その「検討・協議事項」に対し、「まず、協議すること」「次に協議すること」をいくつか挙げてあるが、横に①②③④⑤と番号が付番してある番号は、その項目について、概ねいつ頃までを目途に協議するかを示したものになる。

表の下段にその時期の記載について

①が付番してある項目については、①令和8年8月開催予定の子ども意見交換会までに ②は令和8年12月開催予定の住民説明会までに ③は令和9年8月開催予定の子ども意見交換会までに ④は令和9年11月開催予定の住民説明会までに ⑤は令和10年以降 ということ、協議期日を記載してある。また、●の横に空白になっている箇所については、この後、各部会において話し合っていたくことになるが、これ以外に何か協議が必要な事項がある場合に追記していただくための余白であるためここについては、適宜追記していただきたい。

(続いて、資料4ページについて説明)

(下段の「参考 施設通学部会検討スケジュール」について説明)

こちらについては、各部会において、今後の全体スケジュールを検討していく参考にしていただければと思い、施設通学部会の全体スケジュールを参考例としてお示したものになる。先ほど、説明した準備委員会の進行と抱き合わせて、各部会のスケジュールを検討していただくこととなる。施設通学部会で言えば、概ね10回の部会を予定しており、部会の開催時期を黒丸の①から⑩で示してある。検討していく項目は、設置場所・敷地条件の確認から始まり、

その後協議すべき事項が、緑色の字でお示ししてある。黒丸の③④の施設通学部会の開催の中で、統合校の整備の方向性を検討するとともに、想定される通学方法や通学距離・時間の整理を行う中で、教育部会では「学校の特色づくりの方向性」や「教室のあり方」を検討していただくことが想定される。また、施設通学部会での黒丸⑩⑪の開催の中で、跡地活用検討に合わせ、総務部会においては「跡地活用の方針」を検討していただくことが想定される。

いずれにしても、各部会で検討しつつ、他の部会の動きも共有しながら検討を進めていくことになると思うので、各部会での連携も大切になってくる。今後は、準備委員会において各部会での情報共有を密に図りながら進めていきたいと考えている。

ここまでのところで、何かご意見ご質問等あれば挙手にてご発言をお願いしたい。
(特に意見質疑なし)

6. 各部会での意見交換（各部会の検討項目と検討スケジュールの確認）

(各部会に分かれ、協議項目等の洗い出し)

※各専門部会に分かれて協議・・・協議時間40分程度

7. 全体共有

各部会の部会長より協議事項の報告

(報告内容については、別紙のとおり)

8. その他

本日の各部会で検討していただいたことを踏まえ、スケジュールにそって各部会で協議を進めていっていただきたい。次回からは、各部会で順次進めていただくこととなり、各部会の事務局よりご案内をさせていただくのでよろしくお願いいたします。

全体を通してご質問ご意見があれば挙手にてご発言をお願いしたい。

A 委員：2回目以降の専門部会は、あて職でお願いされている委員さんは令和8年度で交代になるという認識でいいか。

事務局：お見込みのとおり。委員さんによっては今回限りの出席になる方もみえるが、後任の方への報告と引き継ぎをお願いしたい。

B 委員：学校再編に関わりこれまでの経緯や本日の会議の開催等、住民に広く知ってもらう必要がある。具体的に協議をしている写真を掲載するなどして、委員会での活動内容を具体的に知ってもらうためのPRの方法を検討し、住民との情報共有を図られたい。

事務局：これまで、広報や町HP、住民説明会などで周知してきたつもりだが、まだまだ足りていないと思われるので、活動内容の写真を掲載するなどして、PRの方法を検討し、住民との情報共有に努めていく。

9. 閉会

午後8時50分閉会